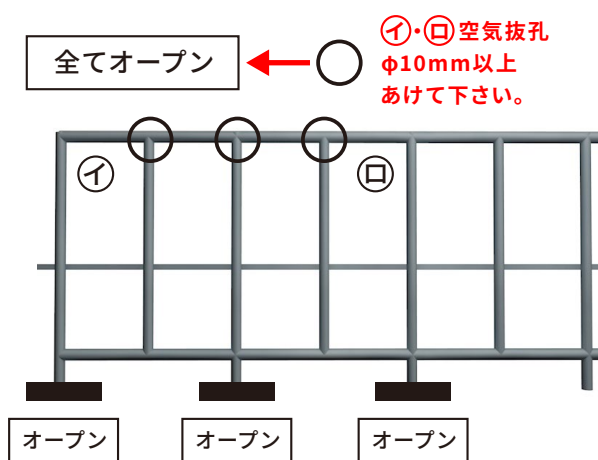


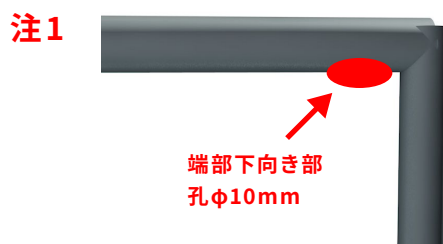
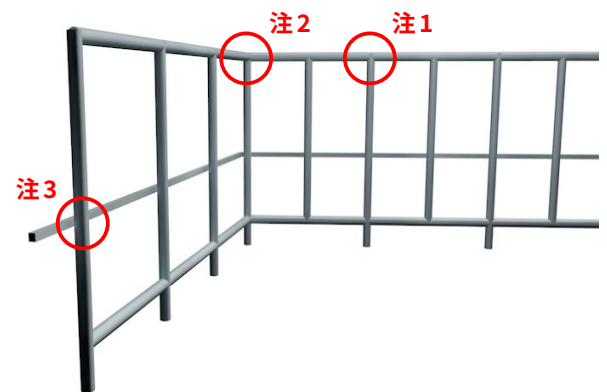
13. 平面的加工品（手摺・パイプ）の 孔あけについて

階段用手摺について、めっき浸せきを安全に行うため、垂鉛及び空気抜き孔が必要です。

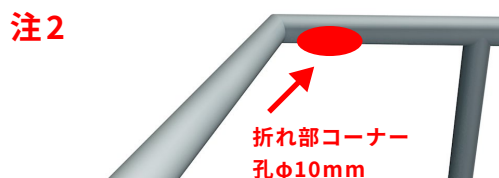
平面手摺の孔あけ



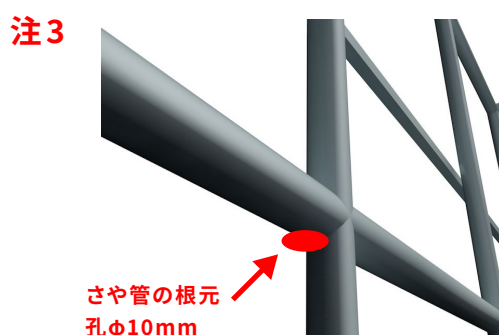
斜形上のパイプ手摺



パイプ端部には必ず垂鉛及び空気抜き孔が必要です。垂鉛及び空気抜き孔が不十分だとめっき浴に沈まなかったり、浸せきした時に水蒸気爆発を起こし、製品が破損してしまいます。



折れ部分の頂点となる部分にも空気抜き孔が必要です。めっき浴からの引き上げ時において、角度によっては空気が溜まりますので、必ず折れ部分に空気抜き孔が必要です。



さや管の根元にも垂鉛抜き孔がないと、垂鉛がつまり、手摺を繋げることができなくなります。内部孔をオープンにして溶接する方が好ましいです。